

# いの流水俳壇

松尾 満津於選

## 「当季雑詠」

大いなる夏山写しダム平ら

川村 博子

〔評〕夏山登山の句であろう。いの町には、仁淀川、吉野川の二大河川と、それに付随する大小の支流があり、ダム湖も多い。湖に沈んで見える四国の、みどり一色の山。夏山といっても瞭らかに薄暑のころのダム湖である。季節の推移を見事に把えうっとりとした心の映像。

誇らかに無人の駅の立葵

大川 節弥

〔評〕立葵はアオイ科の越年草で、観賞用として栽培される。種類にもいろいろあるが単にアオイといえは一般的には立葵を称している。高く伸びる茎に澤山の花を咲かせるが、その花の色にも赤、紅、白、黄、紫等がある。高知市内を流れる小川や溝、道路沿い等では見事な立葵を見掛けるところがあるが、花が見事であるだけに、句が花に位負しない格調が必要。この句は存在する駅が無人駅である

ところから一段と句が花やいで見え、作者の選句への気配りがよくわかる句である。

古里の歴史は夏の草の下

竹崎 光子

〔評〕夏の草の下にある古里の歴史と云えば紛れもなく、先祖の墓であろう。家、土地財産、暮らし、仕来りのすべてが遠い昔から伝えられ、受け継いで来たものである。

「夏草やつわものどもが夢の跡」という芭蕉の有名な句があるが、作者は苔むした自分の先祖の墓を見てこの句に共感を覚えたに相違ない。

更衣サイズ直しの一日かな

中野 好子

〔評〕冬から春にかけて着用した着物を、夏着に着替えることを更衣というが五月頃には袷、六月頃には単衣といったように次第に暑さに向う準備をする。一日かけて寸法を直す、大きくするか小さく仕立てるのか、年齢によって異なるであろうが、手間暇かけての作業である。昭和の困難な時代を生きて来た女の生き様を垣間見る思いがする。

気のりせぬ針の重さよ梅雨ぐもり 岡本とも子

胸ボタンはずして孕む青葉風 刈谷 志津

茄子苗に二日の留守を詫びにけり 間 浩太

校庭に声なき風の花棟 友草 水月

トゲのある薔薇で二人の距離計る 秋田 律子

紫陽花や色とりどりの美人顔 森岡 照月

梅雨空へ部活のラッパ吹き上ぐる 井上 郁子

腹八分いや六分目や苔の花 津田 久美

田舎道仲良くゆれるてまり花 小島 良

青蘆の中州潜りて雨後の川 片岡 包女

次々と庭の賑わいさつき咲く 川村 愛

トンネルを抜け来る風の涼しさよ 筒井 文

花祭りとりどりの花に願いおぼ 弘瀬うき子

万緑や米を背負いて児は立てり 伊藤 たみ

留守番を頼んでゆくや釣葱 森元二美子

山界の道をたどれば草蒼々 楠目 哲郎

紫陽花に雨の重さのありにけり 松尾満津於

次 題 「当季雑詠」

締め切り 毎月第2月曜日

投句先

吾北教育事務所 上八川甲2010

☎ 867-2133

お知らせ  
【定期普通救命講習】  
実施しています

けがや急病などで呼吸や心臓が停止してしまつた場合、人工呼吸や心臓マッサージは知識がないと適切な処置ができません。消防署で行う普通救命講習会にご参加ください。

講習時間は約3時間、講習内容は観察要領・心肺蘇生法・止血法・AEDの使用方法等の講習を行い、修了者には普通救命講習修了証を発行します。また、10名以上のグループであれば、出張講習も実施しています。

講習を希望される方は、最寄りの左記消防署へお問い合わせください。

○講習実施日

毎月第2日曜日

9時30分～12時30分

消防署3階で実施

申込受付 随時

○仁淀消防組合消防署

☎ 893-3221

○仁淀消防組合吾北分署

☎ 867-2812